

令和4年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 21
千葉県立八千代高等学校 全日制の課程 体育科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	評価者2名の個人面接 検査時間：1名5分
(3) 適性検査	検査時間は適性検査 検査時間：15分 柔道(女) 剣道(男女) サッカー(男) 陸上(男女) バスケットボール(男女) バレーボール(男女) ハンドボール(男女) テニス(男女) ソフトボール(男女) 体操(男女) から1種目を選択 ・柔道衣は各自で用意すること。剣道具、竹刀は本校のものを使用する。 ・出願時に適性検査申告書を提出すること。
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願理由」及び「自己アピール」

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	調査書の評定の全学年の合計値で評価する。評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。評定の合計値が8.3以下の場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が20日以上、3年間の合計が45日以上の場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔50点満点〕

2名の評価者が、次の5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（特に優れている）・b（優れている）・c（標準的である）・d（問題がある）の4段階で評価する。
aを5点、bを3点、cを2点、dを1点とし、2名の評価者の評価（各25点満点）を合計し、得点化する。評価dが4つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 体育科に対する理解	体育科での高校生活に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、わかりやすく適切に応答することができる。
エ 部活動に対する考え方	部活動に取り組む意思が明確である。
オ 競技について	競技に対する目標が高く、意識が明確である。

(3) 各高等学校において別に定める検査（適性検査）〔100点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（非常に優れている）・b（優れている）・c（優れていない）の3段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～c c）で得点化する。

評価項目	評価基準
(ア) 当該種目の技能観点1	当該種目における技能を身に付けている。
(イ) 当該種目の技能観点2	当該種目における技能を身に付けている。
(ウ) 当該種目の技能観点3	当該種目における技能を身に付けている。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願理由	本校入学の意志について確認する。
イ 自己アピール	特に優れた内容について、総合的に判定する際の参考とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点 評定	面接の得点	各高等学校において別に 定める検査の得点	総得点
135点	50点	100点	285点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

4 その他

過年度卒業者については、各高等学校において別に定める検査終了後、別途個人面談を行う。